

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
長野県、 富士見町	20000 20362	1	平成 21 年度 ～平成 24 年度	平成 20 年度 ～平成 21 年度
活性化計画の区域				
富士見町地区（長野県富士見町） 区域面積 13,991ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住人口の確保	0%以上 (106.15%)	+3.23 (109.38%)	皆増 (103.04%)	

(コメント)

平成 15 年度から平成 18 年度の当該計画以前における 4 年間の計画区域内（都市計画用途地域を除く）の転出入割合は 106.15%であった。

計画期間である平成 21 年度から平成 24 年度の間においては維持増加を目指した結果、転出入割合が 109.38%と目標を達成することが出来た。（なお、出生および死亡は転出入に含めていない。）

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
総合鳥獣被害防止施設	ネットタイプ電牧柵 L=3.7km、段張電牧柵設置 L=14.1km			富士見町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
富士見町	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 21 年 3 月 31 日	
事業の効果				
南アルプス方面及びハヶ岳方面の「囲い込み（連続した電牧柵の設置）」が完了し、山地や森林（電牧柵の外側）からの獣（主にサル、シカ）の進入を防止することで、農地や里山（電牧柵の内側）における農作物被害の軽減が図られた。 ※計画前被害額(H15～H18) 43,883 千円 → 計画期間(H21～H24) 18,779 千円 また、地域農業者や新規就農者等が安心して農業に携わることができる環境が整い、計画期間における地域内の定住人口の確保が図られた。 ※計画前定住人口(H15～H18) 63 人 → 計画期間定住人口(H21～H24) 113 人				

3 総合評価

(コメント)

事業を実施したことにより農作物被害額が確実に減少し、且つ、活性化計画の目標である地域内の定住人口の確保が概ね図られたことは評価できる。【富士見町】

転出入の割合が伸びたことに伴い定住人口が増加したことに対して大変評価できる。【諏訪地方事務所】

4 第三者の意見

(コメント)

農業の継続意欲、就農意欲の向上に期待する